

三豊市から多度津町へ、新ルートを歩く！！

朝は麦の穂が金色に輝くいわゆる麦秋のなかを行進しました。朝の出発集会では森川観音寺原水協理事が、「僕の頭禿げ、目も悪くなった」男性の被爆者が「つるや禿げ」そして「目くされ」と言われた詩と小学校3年生だった女性が「原子爆弾で昼が夜になり、人はお化けになった」詩を朗読し挨拶としました。

着時間が遅れた三豊市では、山下昭史市長が快く挨拶。世界中で不安な空気が漂うなか、核の根絶こそ恒久平和への道と強調。また丸戸議長が労を労った後、皆さんの一步一步が核廃絶につながるし、皆さんと共通の認識を持つと訴え挨拶としました。

岩田秀樹市議がお礼を述べ、終結集会としました。今日から三豊市の市庁舎内では「原爆写真」と原爆の絵展を23日まで開催を始めています。

昼からはJR 詫間駅集合で多度津町までの新ルートでの行進となりました。浜風で涼しいなかの行進で、途中津島神社・熊手神社そして空海さんが生まれた海岸寺と名所が続きます。時間があればゆっくりと見物したい所ですが一路、多度津町舎へ。丸尾幸雄町長が出迎えていただき、挨拶を受けました。宮本修さんの出発式あいさつの後元気にスタートしましたが、行進者には91歳になる石井千代子さんが参加していました。彼女から多度津町の歴史や空海さん（おだいっさん）のお母さんの話を聞きながらの行進となりました。

昨日は八幡神社で「冷菓」のお接待、そして今日は多度津町で「冷えたスイカ」と2日続きのお接待に参加者は舌鼓を打っていました。

参加者：42人 ペナント：8本 署名：7人分 青年カンパ：500円 でした。



三豊市で市長・議長と



丸尾町長と庁舎前で



三豊市庁舎での写真展